

(別紙2)

## 2. 目標達成計画

事業所名 グループホームしおかぜ

作成日 平成 25年 6月 6日

### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	日常的な仕事の慣れにより、緊張感が薄れている。細かい部分のケアに対する意識が欠けている事が見受けられる。	入居者さんの言葉だけではなく、表情、雰囲気、気持ちなどを感じ取って緊張感を持って援助を心掛ける。	大事な事は、その人を様々な視点から思う気持ちを失わない事である為、スタッフ会議では随時教育していく。また、お互いに気付いた事は話しあっていく。外部の関連研修を通して緊張感を持つ。	随時
2	25	体調の変化や、普段の様子の違いを見過ごす事で、急変的な体調の悪化を招いた。また、職員が見過ごし、家族からの指摘があるまで、変化に気付かない事	少しでも早く、入居者さんの普段と違う様子に気づき対応することが出来る。	連絡帳での活字の伝言だけでなく、始終業前のミーティングの実施により、口頭でも日常の様子を伝え合い、みんなで情報を共有できるようにする。普段から、起こり得るリスクなどを事前に学習し、異常の早期発見につなげる。	随時
3	19	訪問マッサージの利用の際、その内容や、必要なリハビリを職員が把握していない現状がある。また、往診時には、Drに普段の様子の報告や相談を積極的にすることに欠けている。	家族・医療との連携を強化する。報告・連絡・相談を徹底することができる。	往診、訪問マッサージ等、任せっきりにするのではなく、一緒に関わっていき、普段の様子を伝え、その関わりの中で必要な処置や改善すべき生活習慣、今後行っていく生活リハビリがあった場合は、それを随時家族に報告していく。	随時
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。